

平成19年3月29日  
消 防 庁

### 検知・探査災害対策用ロボットの配備

1995年の我が国における地下鉄サリン事件、2001年の米国の同時多発テロを始め、近年、国内外を問わずテロなどによる災害や地下鉄・地下街における災害など、消防隊員のみでは安全に消防活動を実施することが困難な災害現場が多く発生しています。

消防庁では、このような災害現場において安全・円滑に救助等の活動を遂行するための手段として、消防防災ロボットの研究・開発等を実施しているところですが、今回、本格的な実用化に向けた第一歩として、次のとおり、検知・探査災害対策用ロボットを配備することとしました。

今後、災害を想定した訓練や実際の現場における運用等を通じて、更なる高度救助体制の充実につなげてまいります。

- 1 配備ロボット  
検知・探査災害対策用ロボット（詳細別添参照）
- 2 配備先消防本部  
東京消防庁
- 3 その他  
平成19年3月29日に配備  
習熟訓練終了後に正式運用予定

〈連絡先〉

消防庁国民保護・防災部 参事官室 近藤補佐、堤係長

電話：03-5253-7507

FAX：03-5253-7576

# 検知・探査型災害対策用ロボット概要

## 本体

寸法	1025(L) x 480(W) x 420(h) [mm]
重量	62kgf
防水・防塵性	IP54
搭載検知器	神経ガス検知機, 可燃性ガス検知機, ガンマ線検知機
カメラ	4台(前後左右, 照明付)
通信方法	有線(光ファイバー, 300m), 無線(50m程度)
最大速度	3km/h
最大登坂階段角度	35°
横転安定角	60° 以上
その他	微旋回(約 1.5°)機能, 自動ケーブル巻き取り, 音声通信
バッテリー持続時間	約2時間(使用条件による)
バッテリー充電時間	約1時間

## 操縦装置

重量	5.4kgf
防水・防塵性	IP33
表示画面	12.1 インチ
走行操縦	ジョイスティック, 速度モード切替(低, 中, 高速)
主な表示内容	通信状況モニタ, 本体バッテリー残料 4カメラ画像, 各計測器の検知データ, ロボットの向き・姿勢
画面録画機能	最大2時間 (5フレーム/秒)
音声通信	プッシュトーク式

付属品	工具, 予備クローラ(左右1組), 交換用バッテリー(本体用1, 操縦装置用1) 充電器(本体用, 操縦装置用)
-----	---



(a) 本体



(b) 操縦装置

ロボット概観

総務省消防庁参事官室

総務省消防庁消防大学校消防研究センター